

平成30年 4月 3日

平成30年度学校経営方針

島本町立第一小学校

校長 頼田 和典

全教職員の持つ英知と能力を結集して、学校を拠点としながら、保護者・地域との連携を深め、子どもたちに「生きる力」をはぐくむ。

1. 学校の教育目標 「人間尊重の精神をもって、ともに生きぬく子どもたちの育成をめざす。」
～「自ら学び 心豊かな 元気な子」～
2. めざす子ども像 基礎基本を身に付け、自ら考えるかしこい子
思いやりを持ち、人と協力できるやさしい子
望ましい生活習慣を身に付け、進んで運動する元気な子
3. めざす学校像 信頼される学校 安全・安心な学校 保護者・地域と協働する学校
4. めざす教師像 一人ひとりを大切にする教師
向上心を持ち、常に成長する教師
保護者・地域とつながる教師
5. 研 究 事 業 島本町英語教育推進事業（「教育課程特例校制度」）

I めざす子ども像の実現に向けて

○「かしこい子」の育成のために

（1）わかる授業づくり

◇単元等を通して「主体的・対話的で深い学び」へつながる授業づくり

◇授業力の向上（研究授業及び公開授業の実施）

◇授業のユニバーサル化を柱にした授業づくり

—「課題」「見通し」「課題解決」「振り返り」

◇習熟度別学習等によるきめ細かな指導・指導方法の工夫改善（算数科）

（2）基礎・基本の定着

◇授業時数の確保

◇「点検テスト」（4月・11月）による定着の確認と課題解決への取組み

◇放課後学習（2年・3年・4年週1回）

◇補充学習の活用（一小タイム、夏季休業中、期末個人懇談時等を活用して）

◇家庭学習の定着（家庭との連携 「家庭学習チェック週間」）

（3）読書活動の充実

◇読書時間の充実（担任と担当との連携）

◇朝読書・家庭読書・音読発表会の継続と読書週間期間の延長

(4) 学習環境づくり

◇授業規律・学習ルールの徹底等

◇ICTの活用（PCルーム、普通教室）による視覚的支援

※書画カメラ、プロジェクター、タブレットの有効活用

○「やさしい子」の育成のために

(1) 人権教育の充実

◇年間計画に基づいた実践と評価

◇「ふるさと学習」を柱にしたつながり力の育成

◇保護者・地域の理解・連携（人権参観の実施）—「あひるだより」の発行（年3回）

◇教職員の人権感覚の高揚（人権が尊重された教育の推進）

(2) 道徳教育の充実

◇道徳科を要として、教育活動全体での適切な指導

◇教科用図書を使用しての年間計画に基づいた「道徳科」の実施

◇研究授業の実施による指導力向上（「考え、議論する道徳」に向けての指導方法、評価の在り方等）

◇道徳科学習内容の周知

※資料をファイリング—学期末に保護者に提示

(3) 集団づくり

◇学級・学年・学校のルールを守る取り組み

◇集団づくり、仲間づくりの取り組み — 各学級、「つどい」（年3回）、なかよしタイム

(4) いじめ問題への対応

◇生活アンケートによる実態把握（年3回）

◇「学校いじめ防止基本方針」に基づいた「チーム」としての対応

※毎週金曜日の終礼時に情報共有を図る。

(5) SSW・SCとの連携

◇日常的に情報の共有（早期発見—早期対応）

◇ケース会議の充実

○「元気な子」の育成のために

(1) 体育科指導の充実

◇計画的な学習指導 場の工夫 運動量の確保

◇教員の指導力向上（学習会の実施）

(2) 体力テストの実施・体力づくり

◇体力の実態把握及び課題解決に向けての体育科授業への反映

◇休み時間、体育朝会の取り組みの実施（運動カード等の活用）

◇「放課後子ども教室」の活用（「校庭開放」「各種教室」）

(3) 健康教育の推進

◇基本的な生活習慣の定着を旨としての啓発

◇養護教諭との連携による保健指導

◇食育指導の実施と「食」への関心の向上

II めざす学校像の実現に向けて

○「信頼される学校」をめざして

<学校力の向上>

(1) 組織としての学校（全教職員の英知と能力を結集）

◇管理職への報告・連絡・相談 首席→教頭→校長による文書決裁

◇PC（グループセッション）を活用しての事務連絡等の徹底と職員会議の実施

◇企画委員会、各委員会による企画立案、点検、改善

◇一人ひとりが、校務分掌の自覚と責任及び点検、改善

◇信頼関係を築き、すばやい協力・協働体制

◇新規採用者を中心とした若手教員の育成

(2) 幼小中一貫教育・・・学校体制として、保幼小連携、小小連携、小中連携

(3) 特別支援教育の推進

◇児童一人ひとりの課題・特性を把握しての指導・支援

◇特別支援教育C oを中心に、保護者、通常学級担任と支援学級担任等との連携

※「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の充実

※次年度、支援学級途中入級児童の状況把握と面談

◇支援教育への理解力の向上

※校内研修の実施

※島本町支援教育研究協議会等との連携

(4) キャリア教育の推進

◇社会的・職業的自立にかかる基盤形成に向けて

※『学校・学年だより』等で、取り組みの情報発信とキャリア教育の明記

(5) きれいな学校

◇清掃 掲示 施設・設備の改修、改善

<教師力の向上>

(1) 教師の心得

◇教育公務員としての自覚（関係法令の遵守）

※率先垂範 服装 整理整頓 時間厳守 電話・来校者応対

(2) 授業力の向上（個々で・チームで）

- ◇わかりやすい授業の創造（授業計画、教材準備、ICTの活用、打ち合わせの充実等）
- ◇校内研修（講師招聘による授業研、全員による公開授業の実施）
- ◇自己研修—読書、他校のすぐれた実践の情報収集・視察

○「安全・安心な学校」をめざして

(1) 危機管理体制の整備（未然防止に全力を）

- ◇教職員の危機管理意識の高揚（意識のないところに防止・阻止行動は生まれない）
 - ※「職員会議」等で啓発
- ◇安全計画に基づいた施設・設備の点検
- ◇マニュアルに基づいた、早期発見・早期対応
 - ※いじめ・不登校・虐待、問題行動、セク・ハラ、パワ・ハラ、個人情報保護等
- ◇訓練の実施（不審者、地震、火災等）
 - ※児童への事前・事後指導の充実

(2) きまりを守る意識の向上

- ※学級指導・集会等での啓発

(3) 登下校の安全確保

- ◇安全ボランティア・地区役員との連携

○「保護者・地域と協働する学校」をめざして

(1) 情報の発信

- ◇各種たより等による周知
 - ※「学校だより」、「学年だより」、校舎内外の掲示、ホームページ、会合等

(2) 保護者との連携（児童の実態の共有）

- ◇日常的にしていねいな連絡・相談（電話・連絡帳等）
- ◇参観・懇談、家庭訪問の充実

(3) 学校協議会の開催

- ◇保護者・地域の意見・評価の反映

(4) 地域等との連携

- ◇一小応援団「和」との連携—「サークル」活動、「アートフェスタ」の開催等
- ◇島本町学校支援『ゆめ本部』事業の活用（放課後学習の充実 教科学習への支援等）
- ◇大阪成蹊大学とのパートナーシップ事業（教育実習の受け入れ）
- ◇ゲスト・ティチャーを活用した取り組み
- ◇民生・児童委員との連携
- ◇第一地区福祉委員会・自治会
- ◇安全懇談会（安全ボランティアも参加）の開催